

もくじ

- 02 まちの話題
- 04 特集 サマカイトの一大産地
- 06 多久市からのお知らせ
- 13 あじさいへ行こう！
- 14 教育委員会だより
- 15 市長コラム
- 16 健康ノススメ
- 18 おたっしゅだより
- 20 まちのPickUPインフォメーション
- 24 Hi! POSE ほか

10月22日 [Sun]

多久聖廟で秋季釈菜



300年以上受け継がれ、佐賀県重要無形民俗文化財に指定されている「秋季釈菜」（主催：公益財団法人孔子の里）が多久聖廟で開催されました。

晴天に恵まれた中で伶人や献官が入廟し、儀式は粛々と進行。その後は聖廟境内で「釈菜の舞」や老人クラブと幼児による「参列生徒の唱歌」が行われたほか、イベント広場で「花棒舞」「孔子の里腰鼓」「孔子の里獅子舞」が華やかに披露されました。

県外からの来場者は「多久市出身なので、子どもの頃から釈菜を見てきました。当時が思い出されます」と懐かしそうに話されました。



10月28日 [Sat] ~ 29日 [Sun]

第51回 多久まつり 4年ぶりに通常開催



▲郷土芸能のステージでは「西多久音頭」が披露されました

第51回多久まつり（主催：多久祭り振興会）が開かれ、歩行者天国となった多久市まちづくり交流センターあいばれっと周辺に市内外から多くの来場者が集いました。今回は子どもみこしも復活。4年ぶりの通常開催がなりました。

会場では東原彦舎中央校生徒による吹奏楽演奏などが披露され、郷土芸能や市民総踊りではにぎやかな歓声も。さらにあいばれっと内では来年開催のSAGA2024国スポ・全障スポ競技のうち、多久市で開催されるスポーツクライミングと弓道の体験イベントも開かれました。

市外からの来場者は「露店やステージイベントなどがあって、良い休日を過ごせました」と楽しまれていました。

11月1日 [Wed]

多久ロータリークラブが防火チラシを寄贈



▲贈呈された防火チラシを手に火災予防を願うみなさん

多久ロータリークラブから今年も防火チラシを寄贈いただき、贈呈式を市役所で行いました。いただいた防火チラシは火災予防運動の一環で、多久市消防団が市内全世帯へと配布します。

贈呈式で多久ロータリークラブの古川英敏会長は「火事は生活基盤や思い出まで消し去ってしまう恐ろしいもの。ぜひ防火チラシを玄関や台所などに貼って、各家庭で火の用心に努めてください」と話されました。

寄贈を受け、横尾俊彦市長は「防火チラシは個人の防火意識を高めるのに大変役立つので、空気が乾燥する今の季節には特に重要な役割を果たします。ありがとうございます」と謝辞を述べました。

今月の論語

驥は  
その  
力を  
称せず

驥不称其力、称其德也。

其の  
徳を  
称する  
なり

出典：憲問第十四

名馬はその走力をほめるのでなく、その乗りやすさをほめるのである。

今月の帰宅放送は、東原彦舎西溪校9年の森山 要さんです。



多久市公式 X (旧Twitter)



多久市公式 YouTube



多久市公式 Instagram



多久市公式 Facebook